



人口・世帯	(1月1日現在)
人口	196,248人 (前月比+11人)
世帯	63,937世帯 (前月比+74世帯)

発行 小田原市役所 〒250 小田原市荻窪300番地 編集 広報課 ☎33-1261

国際化をめざして

外国人との共生社会づくり

近年、観光客ばかりでなく、域外職場で外国人の姿も多く目にし、工事現場などでは日本人に混じって汗に汗して働く姿がよく見受けられます。外国人専ら多くの日本人が経験するのと同じように、日本が専ら日本人、異文化や生活習慣にまじまじと生きていくのではなく、外国人の生活が私たちに馴染みのある生活となり、互いに共生する社会を築いていくことが、小田原市には、平成四年十二月、月見倉、外国人登録をしている方が千八百十八人、国籍は三



身ぶり手ぶりで買物を

十三か国に及んでいます。そして、最近五年間に、五倍に増加しています。これは、平成三年六月、入管法の改正により、日本の在留資格が「特定者」として明確にされたこと、外国人研修生受入れの門が中小企業にも開かれ、日系フィリピンやルーマニアなどの外国人が急増したことによるものと見られます。近年急増している外国人の中には、近頃は日本とつながり、通じる言葉も増え、理解しあえるコミュニケーションが可能なものも出ています。さらに地域ごとの慣習の違いなどの生活情報を得る機会が不十分

特集・曽我の郷めぐり

生まれ！地球市民

在住外国人がパナリストに

小田原の生活や文化について、在住外国人の「生の声」を聞いてみます。

日時 三月六日(土)午後一時～四時三十分まで

場所 小田原市中央公民館

4・5面

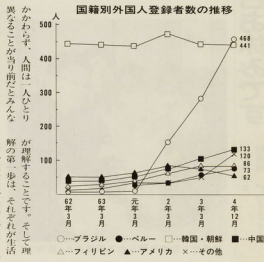


1月15日いこの森のだんご焼で地域交流

文化鑑賞(☎1519)では在住外国人と交流している地域の職場の個人やグループの情報提供をお待ちしています。

大講堂

- ◆内容 あなごの国の常識
- ◆パナリスト 在住外国人
- ◆入場料 無料
- ◆申込 問い合わせ 文化振興課 ☎5119



2月12日 21世紀プラン市民の集い

きらめく城下町への序章

今後、小田原が進むべき方向を市民のみならず共に考えようという機会です。ぜひご参加ください。

日時 2月12日(日)午後6時～開場は5時30分

会場 小田原市中央公民館1ホール

内容

- ◆開会 平山由美子(ワリ)
- ◆パナリスト
- ◆北條人談の演説
- ◆第2部 きらめく未来を

◆問い合わせ 企画政策課 ☎1263

2月10日 テレトピア指定記念 シンポジウムを開催

本市は、昨年、郵政省の情報政策、テレトピア構想を実現するに当たって、テレトピア構想は、ニューメディアを活用した先進的な地域社会づくりを目指すこと。このテーマを都市再生を新たな情報都市づくりの突破口として、指定記念のシンポジウムを開催します。

日時 2月10日(金)午後1時30分～4時30分

会場 中央公民館ホール

内容

- ◆基調講演 「地域活性化と地域振興」
- ◆留川勝也(郵政省テレトピア推進部長)
- ◆小田原市テレトピア副市長 藤原勝典(郵政省)
- ◆日本郵政副総務部長
- ◆ヒトリエ上野
- ◆新田たけあき(併席)
- ◆記念講演 「記念講演」
- ◆「映画の向うのふれあい」
- ◆ネットワーク
- ◆地井武男(併席)
- ◆入場料 無料
- ◆問い合わせ 広報課高橋浩一 ☎1264

曾我の編めくりコース

○下曾我コース(所要時間約3時間30分)

下曾我駅→尾崎一雄文字碑→宗我神社→小沢明神楽師堂の田地→法輪寺→大光院→音石→
7分 2分 7分 2分 3分
城前寺→雄山荘→曾我祐信屋敷跡→物見塚→お花畑→稲荷社→浪神塚→祐信宮印塔→
3分 2分 0分 2分 1分 10分 9分 7分

弓張の商店街15分で同じ道を戻ります

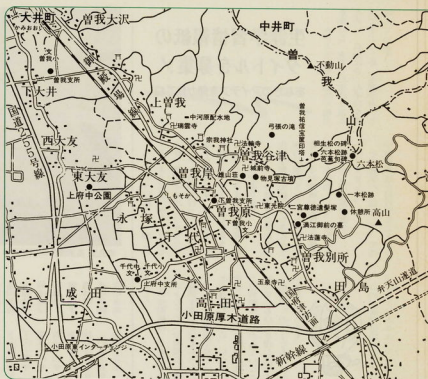
相生の松の碑→六本松→志石→大田道一→宮尊徳遺塚→唯念名号碑→小梅曾我
14分 3分 22分 2分 3分
(瀧江御前墓敷跡)→別所業師堂→瀧江御前の墓→法蓮寺→下久保の道祖神→八幡社→
5分 1分 5分 2分 5分 0分
(梅村)→旧大運寺→東光院→旧土地埋戻水取点→下曾我
15分 5分 1分 20分

○曾我コース(所要時間約2時間)

下曾我駅→宗我神社→天津神社→曾我岸の地蔵堂→瑞雲寺→須賀神社→大日如来堂→
10分 8分 2分 10分 3分
竺土寺→保命神社→千休仏→風外堂→唯岳寺→上大井駅
3分 6分 5分 15分 10分

■下曾我への交通■

- 小田原駅からバスで約30分、下曾我駅下車
- 小田原駅から 東海道線で約7分、国府津駅で御殿場線乗換え約4分、下曾我駅下車
国府津駅からバス乗換え約15分、下曾我駅下車
- 小田原駅から 小田急線で約10分、新松田駅で御殿場線乗換え約12分、下曾我駅下車
新松田駅からバス乗換え約20分、下曾我駅下車



保太兵衛宅した。太兵衛の次男、民次郎は下野国の松野(枋)

二宮尊徳遺塚



本町三町、江法時代から尊徳を祀る。尊徳の死後、その遺灰をもつて曾我へ帰りました。この塚は、民次郎の道によつて、孫の興一郎が昭和十三年(一九三八)に建てたのです。

六本松



二の峠、大田道と鎌倉街道が交差し、東西への眺望が極めて良い所で、尾崎狐山入(尾崎千代蔵)の文による「六本松」の碑がたっています。

相模松の碑・曾我十郎・虎御前跡の伝承地



建久四年(一一九三)、曾我兄弟のうち十郎と、愛大磯の虎とはの地別れましたが、原の有志が、その跡を相模の松と呼ぶようになり、大正八年(一九一九)、相模の松が再び火災で失われたとき、曾我守屋とその原の有志が、その跡を記すとして石碑を立てました。地元の六本松からこの相模松を通る道を「鎌倉街道」と呼んでいます。

小田原梅まつり



ここには双松がはえていますが、これは、源氏の意図年時、造吉等は不明です。この塔は、鎌倉時代の関東に於ける基本的な様式として、市東の指折の本堂造塔として、由の重要文財に指定されています。

梅の里さんほ

2月28日まで

●曾我の梅林

- 11日 俳句大会の里(セシヤ)
- 13日 滝湯(原会場)
- 14日 小田原(うちん)
- 14日 中河原(会場)
- 種とば大会(中河原会場)
- 21日 短歌大会(梅の里セシヤ)
- 別所・中河原民舞
- 別所・中河原踊り
- 別所・中河原踊り
- 中河原民謡
- 期間中の祝日・休日の催物
- 期間中の祝日・休日の催物
- 別所・原・中河原(会場)
- 舟歌・舞踊・別所・原・中河原(会場)
- 期間中の上座・山・原・休日の催物
- 中河原民謡
- 梅まつり期間中、写真コンクール・小中千代祭
- 城址展
- 10月14日 梅の盆栽展(常盤木)
- 7月14日 野合
- その他(市民館)
- 19日 21日 菓子展示会
- 21日 俳句大会
- 主催 市親善協会・曾我梅まつり実行委員会
- 問い合わせ 観光課 ☎1521
- 502 観光課 ☎33

おしらせ

- 丸山港路
- S・T・S 講演会
- 心打つ語り屋(おしらせ)
- 環境低炭素のソリューション
- 主催 小田原白梅ライオンクラブ
- 後援 小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会
- 10月14日 梅の盆栽展(常盤木)
- 7月14日 野合
- その他(市民館)
- 19日 21日 菓子展示会
- 21日 俳句大会
- 主催 市親善協会・曾我梅まつり実行委員会
- 問い合わせ 観光課 ☎1521
- 502 観光課 ☎33

伝言板

- 日程・テーマ
- 2月8日(月) 93年夏山王の労働の動向・労働評議院 矢加部 都立日大
- 2月10日(水) 「環境低炭素のソリューション」 炭素のソリューション
- 主催 小田原白梅ライオンクラブ
- 後援 小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会
- 10月14日 梅の盆栽展(常盤木)
- 7月14日 野合
- その他(市民館)
- 19日 21日 菓子展示会
- 21日 俳句大会
- 主催 市親善協会・曾我梅まつり実行委員会
- 問い合わせ 観光課 ☎1521
- 502 観光課 ☎33

きらめ

- 口産振替
- 在宅介護支援
- セシヤ 事業
- 労働センター
- 労働者健康講座
- 日程・テーマ
- 2月8日(月) 93年夏山王の労働の動向・労働評議院 矢加部 都立日大
- 2月10日(水) 「環境低炭素のソリューション」 炭素のソリューション
- 主催 小田原白梅ライオンクラブ
- 後援 小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会
- 10月14日 梅の盆栽展(常盤木)
- 7月14日 野合
- その他(市民館)
- 19日 21日 菓子展示会
- 21日 俳句大会
- 主催 市親善協会・曾我梅まつり実行委員会
- 問い合わせ 観光課 ☎1521
- 502 観光課 ☎33

